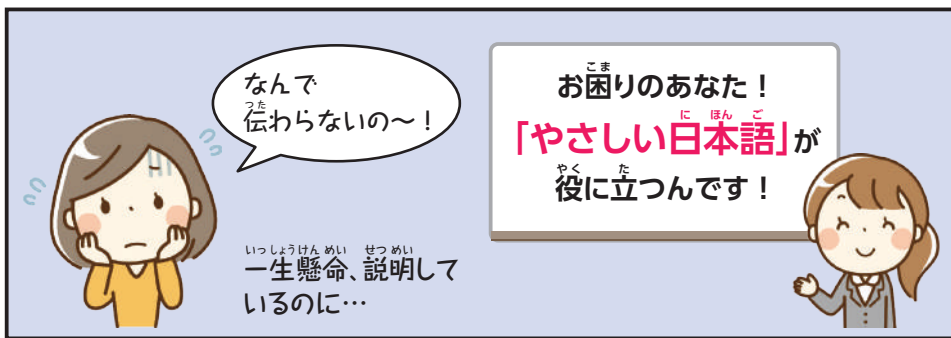


「やさしい日本語」って何？

「やさしい日本語」とは、難しい言葉やあいまいな表現を使わないなど、相手に配慮した日本語のことです。皆さんもぜひ「やさしい日本語」を「やさしい気持ち」で使ってみましょう。



「やさしい日本語」は、どんなもの？

1995年の阪神・淡路大震災が起きたことをきっかけとして、外国人住民に、正しい情報を早く伝えるために考えられました。
「相手が必要としている情報は何だろう」、「伝わりやすい方法は何か」等、コミュニケーションをとる相手によって、内容や伝え方を工夫する取り組みです。

「やさしい日本語」は、なぜ便利？

- 外国人住民にわかりやすい
簡単な日本語を理解できる外国人住民は多くいます。
- 日本人にわかりやすい
子ども、高齢者、障がい者等にとっても、わかりやすいコミュニケーション手段のひとつです。
- 非常時にわかりやすい
災害、病気、事件のときに正しい情報を早く伝えることができます。



やさしい日本語を知っていますか？

地域活動支援課市民協働係
市国際交流協会
☎ (60) 5931
☎ (63) 2241

鹿沼市には、現在40カ国、約1,400人の外国人住民が暮らしています。
市では「第3期かぬま多文化共生プラン」を策定しましたが、全ての市民が共に暮らしやすいまちづくりを進める第一歩として「やさしい日本語」について学んでみませんか。

「やさしい日本語」を使ってみよう！

やさしい日本語 話すときのポイント

- ① ゆっくり、はっきり発音する。
- ② 会話の途中で「わかりますか？」と確認する。
- ③ 伝わっていないと感じたら、別のことばに言い換える。



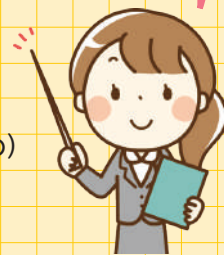
やさしい日本語 書くときのポイント

- ① 文節にスペースを入れ、区切る（分かち書き）。
(例) 「ごみを わける 決まりが あります」
- ② 漢字やカタカナにふりがなをふる。
(例) 「地震」 「地震(じしん)」
- ③ 必要に応じて「※」や「()」で補足情報を加える。

やさしい日本語 共通のポイント (話すとき・書くとき)

- ① 曖昧な表現は使わない。(例) 「早めに」「～頃に」 ⇒ 「朝8時30分までに」
- ② 難しい単語や言い回しは使わず、一文を短くする。
- ③ 敬語を使いすぎない。
- ④ 二重否定を使わない。(例) 「行かないわけではありません。」 ⇒ 「行きます。」
- ⑤ 擬態語、擬音語は使わない。(例) 「ふわふわ」「ぐらぐら」「ゴロゴロ」「わんわん」 等
- ⑥ カタカナ外来語はできるだけ使わない。(外国語の意味と違う、発音が違う等があるため)
- ⑦ 図や絵を使う。
- ⑧ 表情やジェスチャーを使う 等、他にもたくさん方法があります。

少しずつで大丈夫！
できることから
始めよう！



★クイズ★「やさしい日本語」に言い換えてみよう！

自分なりの伝え方を考えてみましょう。いろいろな言い換え例がありますが、参考例をページ下に載せてあります。

- (1) 雨天順延 ⇒ ()
- (2) 土足厳禁 ⇒ ()
- (3) 用紙にご記入ください ⇒ ()
- (4) ご不明な点はおっしゃってください ⇒ ()

「やさしい日本語」
お役立ちツールを活用しよう！

やさしにちチェッカー

入力した文章が、どれくらい「やさしい日本語」が自動で判断してくれます。



NEWS WEB EASY (ニュース ウェブ イージー)

「やさしい日本語」で書かれたニュースです。単語の説明があるので、小学生にもわかりやすい内容です。



★クイズ★の言い換え例

- (1) 雨が 降ったら 違う 日に します (2) 靴を 脱いで ください (3) 紙に 書いて ください (4) わからない ことは 聞いて ください